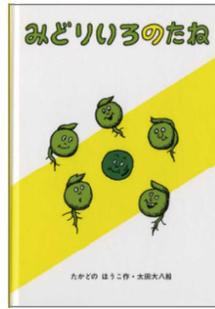


みどりいろのたね

たかどの ほうこ/作 太田 大八/絵 福音館書店

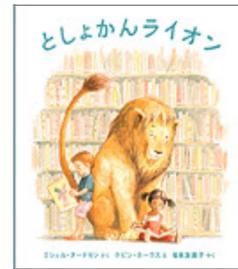
まあちゃんは、みどりいろのたねをまくときに、メロンあめもいっしょにまいてしまいました。土の中では、たねとあめが、おたがいに「へんなやつ」とにらみあっていました。「つまないやつ」といわれたあめは、たねに、ほくをなめてみるようにといひます。



としょかんライオン

ミシェル・ヌードセン/さく ケビン・ホークス/え 福本 友美子/やく 岩崎書店

ある日、としょかにライオンが入ってきました。そのライオンは、しずかにするやくそくをして、おはなしのじかにさんかしたり、しごとのでつだいをするようになりました。としょかにくる人たちもライオンとなかよくなりました。ところが、あることがおこり、ライオンがやくそくをやぶって大きな声でほえてしまいます。



はじめてのキャンプ

林 明子/さく・え 福音館書店

小さい女の子、なほちゃんは、大きい子たちといっしょに、キャンプにつれていってもらえることになりました。おもいにもつをはこぶ・ぜったいなかない・くらくらしてもこわがらないなどのやくそくを、まもろうとがんばります。



みずとはなんじゃ？

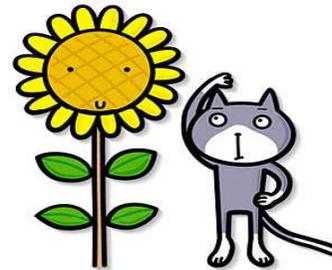
かこ さとし/作 鈴木 まもる/絵 小峰書店

まい日、のんだり、かおをあらったりする水。水をねつであためると目に見えない水じょうきになり、ひやすとかたいこおりになります。また、人やどうぶつの中にはたくさんの水があって、えいようをはこんだり、ひょうきをふせくはたらきをしています。そして、たくさんの水がちきゅうにあることで、生きもののいのちをまもっています。水のせいしつやたいせつさをしることができます。



なつやすみに よんでみよう！

2024年
1・2年生用



ももいろのきりん

中川 李枝子/さく 中川 宗弥/え 福音館書店

るこは、大きなももいろの紙で、せかいいちきれいで、つよくて、足がはいきりん、キリカを作りました。キリカが、まどから首をだしてねていると、雨で首の色がはげてしまいました。るこは、かわいて元気になったキリカにのって、とおくの山にあるクレヨンがたくさんある木を見にいきました。キリカの首をそのクレヨンでぬりたいと思いましたが、木の下にはいじわるなオレンジぐまがいました。



番ねずみのヤカちゃん

リチャード・ウィルバー/さく 松岡 享子/やく 大社 玲子/え 福音館書店

ドドさんの家に、おかあさんねずみと4ひきの子ねずみがすんでいました。みんなはドドさんにきづかれないように、ようじんしていましたが、子ねずみのヤカちゃんの声がとても大きいので、きづかれてしまいます。ドドさんは、わなや、ねこをつかって、ねずみたちをつかまえようとします。



サヤエンドウじいさん 世界の民話

矢崎 源九郎〔ほか〕/作 むらかみ ひとみ/絵 日本標準

イエジーじいさんは、ほらをふくくせがあって、いつも、でたらめばかりいっていましたが。サヤエンドウじいさんというまほうつかいがいて、なんでもいっつけをきいてくれるのです。そのうちに、サヤエンドウじいさんがほんとうにいるようなきがして、こまったときによんでみました。すると、ほんとうにサヤエンドウじいさんがあらわれました。ほかに、たのしいむかしばなしが7つあります。



ロバのシルバスターとまほうの小石

ウィリアム・スタイク/さく せたていじ/やく 評論社

シルバスターは、赤い小石をひろいました。その石は、さわりながらねがえればそれがかなう、まほうの小石でした。ところが、ライオンにでくわし、おどろいたシルバスターは、「岩になりたい」といってしまいました。岩になったシルバスターは、小石にさわれず、ロバにもとることができません。

